



昭和九年十一月五日發行
昭和九年十一月五日發行
發行部 東京 則
支店 大阪 支店
支店 神戶 支店
支店 名古屋 支店
支店 京都 支店
支店 福岡 支店
支店 仙台 支店
支店 青森 支店
支店 岩手 支店
支店 秋田 支店
支店 山形 支店
支店 宮城 支店
支店 茨城 支店
支店 栃木 支店
支店 群馬 支店
支店 埼玉 支店
支店 千葉 支店
支店 東京 支店
支店 神奈川 支店
支店 新潟 支店
支店 富山 支店
支店 石川 支店
支店 福井 支店
支店 山梨 支店
支店 長野 支店
支店 岐阜 支店
支店 愛知 支店
支店 三重 支店
支店 滋賀 支店
支店 京都 支店
支店 大阪 支店
支店 兵庫 支店
支店 奈良 支店
支店 和歌山 支店
支店 徳島 支店
支店 香川 支店
支店 高松 支店
支店 愛媛 支店
支店 高知 支店
支店 福岡 支店
支店 佐賀 支店
支店 熊本 支店
支店 大分 支店
支店 宮崎 支店
支店 鹿児島 支店
支店 沖縄 支店



明治天皇御製

靖國のやしろにいつく鏡こそ
國のためののちをすてしもの光なりけれ
外國にかはねをすてしもの光なりけれ
國のためののちをすてしもの光なりけれ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ
魂も都に今かへるらむ

時局に就て

現下の非常時難に際して、我の傳統的精神を高揚し、萬古
が剛健なる同胞の爽快なる行
進曲を撰ぎ亂すものは所謂自
由主義者の奏する亡國廢種
の騒音である。如何に此の騒音
が内は純真なる同胞を感はし
外は列國をして皇國日本に對
する認識を誤らしめつ、あつ
たか最近過去數年、國歩動も
すれば沈滞、偶々外侮の兆す
ら免れ得ざらんとするに至り
しその禍根は實に此等自由主
義者の奏する騒音であつた。
蓋し彼等の通有性は國體觀念
の混濁と自國文化に對する輕
侮であり加ふるに健忘、排他
猜疑、嫉妬功利……の凡ゆる
皇國の根性である。
我國體は尊嚴無比、神國の二
字に盡されて居る。而かもそ

Table with columns for '定額' (Fixed Amount), '紙' (Paper), '分前金' (Pre-payment), '分後金' (Post-payment), '分月金' (Monthly Payment), '分半年金' (Half-year Payment), '分一年金' (Yearly Payment).

昭和九年十一月五日發行
昭和九年十一月五日發行
發行部 東京 則
支店 大阪 支店
支店 神戶 支店
支店 名古屋 支店
支店 京都 支店
支店 福岡 支店
支店 仙台 支店
支店 青森 支店
支店 岩手 支店
支店 秋田 支店
支店 山形 支店
支店 宮城 支店
支店 茨城 支店
支店 栃木 支店
支店 群馬 支店
支店 埼玉 支店
支店 千葉 支店
支店 東京 支店
支店 神奈川 支店
支店 新潟 支店
支店 富山 支店
支店 石川 支店
支店 福井 支店
支店 山梨 支店
支店 長野 支店
支店 岐阜 支店
支店 愛知 支店
支店 三重 支店
支店 滋賀 支店
支店 京都 支店
支店 大阪 支店
支店 兵庫 支店
支店 奈良 支店
支店 和歌山 支店
支店 徳島 支店
支店 香川 支店
支店 高松 支店
支店 愛媛 支店
支店 高知 支店
支店 福岡 支店
支店 佐賀 支店
支店 熊本 支店
支店 大分 支店
支店 宮崎 支店
支店 鹿児島 支店
支店 沖縄 支店

を眺めよ、幾多の重大懸案は
一として解決されたものはない。
音もなく刻々忍び寄る
危機日に、加はり来る重壓
觀じ決れだ懐然として肌寒き
を覺ゆる。然るに早くも外侮
の小康に安んじ自由主義者の
騒音に惑はされ一日の偷安を
食らんとする怯懦、怠慢、健忘
性の徒輩の續出は已に同胞結
東の破綻である。斯くて皇國
は如何にして未曾有の難局を
打開して東洋の平和を確保し
世界民族の福祉増進の礎石を
築き得るであらう。
回望すれば有史以來我國は屢
々難局に逢遭し而かも度毎に
之を突破した蓋し難局に當り
ては皇國一致國民の志氣愈々
加つたからである。乍去終に
東亞の覇權をだに把握するを
得ず、徒に之を白人の跳梁に
委ぬるの止むを得ざりし所以
であらう。

訓示

十一月十七日高崎市に於て
第一、第二、第十四師管下會
員御親後會長より會員に
對し與へられたる訓示
會員諸君從來帝國在郷軍人會
會員は毎年特別大演習後地方
諸團體と共に府縣知事統制の
下に、天皇陛下の御親閱を賜
つて居りましたのであります。
然るに本年は全く獨立して御
親閱を賜はるの光榮に浴した
のである。觀望の程洵に有難き
極みでありまして恐懼感激措
け能はざる次第であります。
由來本會は、皇室の特別な
御待遇を拜するこゝ一通りで
はありませぬ殊に屢々勅語御

に於て會員諸君に要望するこ
とがある
諸君は平素多大の犠牲を拂つ
て心身の陶冶鍛錬に邁進せら
れつゝあるのであるがその有
様を天覽に供し奉るのには實に
特別大演習後の御親閱を措き
て常にあり得べきことではな
いのであります。依りて此の御
親閱に際しては會員の訓練の
精華を十二分に發揮しなけれ
ばならない。然るに本會の會員
の一家の中心として多忙なる
仕事に従事するものが大部分
でありますから自然斷えず
訓練を行ふことが困難な實情
にあるのであります。從つて常
に依る訓練に努力せねば軍人の
團體として恥かしからぬ成績
を得ることが六ヶ敷きこと、
思ひます。殊に既教育者即一度
軍隊に導入られた諸君は若干
の演習をすればその技能を回
復する事が出来るけれども會
員の半數を占むる未入營者の
能力は分會に於て多大の苦心
ミ工夫を以て進歩向上せし
むる様仕向けることが必要で
あります。

以上は本日の御親閱の結果か
ら申したのでなく軍人會全
體の實狀から全體的に考察し
て述べたのであります。此の天賦
の小さい體を以て時に此の天賦
を率ゐる外國に参りましたが
光輝ある三千年の歴史を有す
る日本を思ふべき、又戦勝に
輝く歴史を有する日本海軍を
思ふべき、彼等の間に伍して
自分を大きく感じます。こそ
すれ決して小さいなきさを感じ
たことではありません。そして
高貴の方や重なる官民の歡迎
を受け、晩餐なきに招かれて
も何等の差別なく同等の待遇
を受けて参りました。誰しも貴
方は御見受けするところ體が
小さい様で胃袋も小さいやうに
あります。體の大きな吾々も
同様の榮養を取らぬとて忍ぶ
べからざるに決して容易の業
ではありませぬ。併至誠奉公

軍縮問題に就て

軍事參議官 山本英輔

本講演は去る九月六日東京中央放送局より放送せられたるもの
で軍縮問題に關し平易に且つ面白く説かれてある
軍縮問題が大分八釜敷くない、御馳走も半分宜しいで
つて参りました。我國は從來「せう」なきは申しませぬ。
の比率を棄て國防の安全感を
立脚し、國防自主權、軍備平
等權を主張するに専せられて
居ります。
之は大變六ヶ敷いこと、の様に
考へられて居ります。つけ
私は此れ程無理に合つた立
派な主張はなく又最も公平で
且つ最も強固易い方法は他に
はない。信じて居るものであ
ります。
それで皆様に判り易い様に
卑近な例ではあります。之
を人の體と食物の關係に譬へ
て常體的の平易な御話をし
て見たいと存じます。「ラヂオ」で
は私の姿は見えますまいが、
私は大將中の體小であります。
體が小さいのであります。標的
が小さくて弾丸が中りませぬ
から却て戦争には都合がよ
い。向つてあります。此の天賦
の小さい體を以て時に此の天賦
を率ゐる外國に参りましたが
光輝ある三千年の歴史を有す
る日本を思ふべき、又戦勝に
輝く歴史を有する日本海軍を
思ふべき、彼等の間に伍して
自分を大きく感じます。こそ
すれ決して小さいなきさを感じ
たことではありません。そして
高貴の方や重なる官民の歡迎
を受け、晩餐なきに招かれて
も何等の差別なく同等の待遇
を受けて参りました。誰しも貴
方は御見受けするところ體が
小さい様で胃袋も小さいやうに
あります。體の大きな吾々も
同様の榮養を取らぬとて忍ぶ
べからざるに決して容易の業
ではありませぬ。併至誠奉公

の精神不屈不撓の勇氣こそ
そ只克く此國難を打開し得る
のであります。會員諸君は廣大
無邊の皇恩を深く、一編裡に
刻まれ協力一致奮勵一意奉公
の途を精進し特に此國難打開
の爲國論の喚起統一國民一致
に於て會員諸君に要望するこ
とがある
諸君は平素多大の犠牲を拂つ
て心身の陶冶鍛錬に邁進せら
れつゝあるのであるがその有
様を天覽に供し奉るのには實に
特別大演習後の御親閱を措き
て常にあり得べきことではな
いのであります。依りて此の御
親閱に際しては會員の訓練の
精華を十二分に發揮しなけれ
ばならない。然るに本會の會員
の一家の中心として多忙なる
仕事に従事するものが大部分
でありますから自然斷えず
訓練を行ふことが困難な實情
にあるのであります。從つて常
に依る訓練に努力せねば軍人の
團體として恥かしからぬ成績
を得ることが六ヶ敷きこと、
思ひます。殊に既教育者即一度
軍隊に導入られた諸君は若干
の演習をすればその技能を回
復する事が出来るけれども會
員の半數を占むる未入營者の
能力は分會に於て多大の苦心
ミ工夫を以て進歩向上せし
むる様仕向けることが必要で
あります。

本誌には修養、軍事事業を記載する外支部と聯合分會及分會との連絡に必要な事項が掲載してあるから役員特に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす



哨歩ノ線前最我ルス或警ヲ境國露蒙テツ立ニ河水ル東

國內で適當に調理し各自の状を越えまい。而して其の線以下で適當に調節し且つ銘々の宜い様に好きな艦を造らうではないか、一々艦種を定めたが、一番都合が宜いのでありませぬ。此の様に軍備の平等を申しましては悉く英米の均等を主張するものではありませぬ。例へば英米が戦艦二十隻を持つても日本が直ぐ其の向ふを張つて同じく二十隻を持つ必要はないのでありませぬ。國防の自主的見地から日本の國情に適した他の方法を擇ばば宜いのでありませぬ。英米は潜水艦は不用だから廢止しようと思つて居る。不用のものなら自主的に廢止したらよいのでせう。併しながら日本としては天然の地勢上之れ程必要なものはない。斯く國々により必要の程度が異なるのは恰も吾々の嗜好が國々により異なる様なものでありませぬ。吾々日本人は刺身が好物でありませぬ。西洋人に勤める生魚が吃驚してそんなものは食べられない、御免だと思つて居る。そんな嫌ひなものなら強ゆる必要はありません。好きなビフテキでも食べたが宜いのでせう。之と同様に一々無理に強制しない方が宜いのでせう。又此の方が御互に氣持がよいのでありませぬ。そこで軍備も之れと同じくある一線を定め、御互に其の線

津輕海峡と東京灣口、大阪灣口と云ふ風に大略二十箇所ありませぬ。假りに三隻よりなる潜水艦一隊つ、交代して警戒するにしましても中型の潜水艦三隻にしましても十二萬噸を要します。更に艦隊附屬の潜水艦を加へますと少くも十五六萬噸は南洋諸島の防備を別にして必要となるのでありませぬ。此の固めが充分でなければ國防の安全は確保されませぬ。然るに我國の斯かる特殊の有様を知らず倫敦條約に於て單に英米と均等なりと云ふ美名に眩惑され少量の潜水艦を割當られて満足して居る人ありませぬ。此の上も日露戦争時代と異なり飛行機潜水艦の活躍盛でありませぬ。沿岸要所の守備には潜水艦を以てする外はありません。又潜水艦程有力なものはありません。更に朝鮮は合併せられ且つ滿洲國の獨立を見た今日の日本が其の生命線を確保するには海上の安全がなくては出来ませぬ。彼や此れやを考へますと我國沿岸の防禦上潜水艦は飛行機と相俟つて非常な重大なる使命を持つて居ります。此の如き沿岸の守りがあつてこそ艦隊も安心して海上所要の地點に進出して自由な作戦が出来るのでありませぬ。日露戦争の際沿岸防禦の爲め浦鹽艦隊は易々二回迄も津輕海峡を突破したてはありませぬ。又東京灣外は一兩日徘徊したてで東京市民の食ふべき米が缺乏するに云ふ様な騒ぎを來たし大本營でも遂に上村艦隊を東京灣外まで呼び寄せた苦い経験があるではありませぬか。國防を論ずるに當つては吾々は我國の特殊の地勢を常に念頭に置かねばなりません。

さて世界の各國が眞に世界の平和を希ひ人類の幸福を祈るならば富強なる大國が其の襟度を示し、進んで軍備の大縮減をなし誠意を以て其の縮減を示されば到底完全な軍縮は望まれません。又世界の平和は求められせん。圍碁將棋に於ても強い者は何目かを置かせます。飛車、角等を外すし、ゴルフにしてもハンディキャップがあります。軍縮も此の供に従つて行つたなら險惡の雲は晴れて忽ち平和の光輝を渡るのでありませぬ。然るに實際は全く之の反対であります。一體大きな國で資源に富み財政も豊かであり工業力の盛なるものは一朝有事の際大馬力を以て其の全能力を發揮し忽ち小國を壓倒する偉大なる力を持つて居ります。それにも拘らず尙其の上意張つて居るから優勢なる軍艦を持つて居よう云ふのでありませぬ。小國で資源に乏しく財政困難工業力の微弱なるものは何時言ひ掛りをつけられ頭を歐ぐられるか判らないので、絶へず不安に驅られ之に對する準備を工夫しなければならず到底底を高くして平和の夢を結ぶことは出来ませぬ。以上の如く從來の軍縮條約は甚だ不合理、不利益でありませぬ。故に最も公平の見地を以て之が原因をなす所の比率を廢して正々堂堂國防自主權軍備平等を主張しよう云ふので、華府條約廢棄の必要を生じて來たのでありませぬ。又倫敦條約は英米兩國の延長であつて一脈の通ずるものがありませぬ。それ故に何等の引掛りをつけられず全く自由の身となつて豫備交渉に入らなうが爲め廢棄通告を急ぐ必要がありませぬ。尙滿洲事變以來ソウヴェエト聯邦露西亞の極東に於ける海陸の軍備は非常な強大となりましたから我が海軍の防禦力に大なる影響を及ぼして參りましたので、第二十三條の規定を待つ迄も第二十一條の規定により已に早く今日迄に會議開催を急がすことも出来たのでありませぬ。

此の如く人心一致するときは、老幼婦女を問はず一團として國難に赴くは歴史の證する所でありませぬ。山陽も亦日本外史に於て北條氏元寇の國難を論じたる結尾に於て『兵の勝敗は人に在りて器にあり。我が長技自らあるあり持ち可し。吾々は今の長技を振ふこと能はざる様に縛られて居りませぬ。』と考へて見ますと、今日世界に於て軍備の全部に互り平等以下の制限を受け、其の東縛の下に苦しんで居るものは世界大戦の戦敗國であつた獨逸と我が日本あるのみであります。戦敗國ならいざ知らず國運隆々として旭日昇天の勢ある我國にして海に恥づべきことではありません。國防上自主的觀念の麻痺せる之より甚だしきはなしと謂はねばなりません。吾々日本國民は速に此の點に目醒めて不利の東縛を勇敢に切り放たねばなりません。而して獨逸でさへ已に軍備の平等權を主張して居ります。之が爲め遂に國際聯盟迄も説退致しました。況んや日本に於てせうでありませぬ。然るに一番大切な人心が不一致では何等の効果も挙げられません。神業も申すべき驚天動地の勳は其の目的が一定し民心が一點に歸しなれば現はれるものではなないことを深く心に銘じなければなりません。嘗て薩南の驍將對利秋に戰勝の秘訣を問ふ者がありましたが、直に命じて家の周りを走らせ其の疲る、を見るや、勳聲一響戦も同じことだ苦戦のときは我れ獨り苦しいやうに思ふだらうが敵も亦等しく苦しむのだ此の苦しい所を我慢し切つた方が勝んだと教へました。萬事皆此の呼吸であります。吾々は利秋の意氣を以て最後の四國で有名な河野通有の息一息と云ふ所で尻古垂れることなきや、互に相結束し國民一團となつて飽くまで頑張り通し、以て國難を突破し皇道を天下に宣布し皇威を世界に發揚しなければならぬと存じます。

先き程放送局の來賓室に於て東郷元帥の書かれました『御後成赫々』の額を拜して感無量であります。時恰も本日は故東郷元帥の百日祭に當ります。講演を終ります。

生前軍縮につき苦難を嘗められたる元帥の英靈は今だ天の一角より『マイクローフオン』の前に立つ私の小艦を激勵せらる、が如く感じ、一層の努力を要するものご考へつ、本講演を終ります。

昭和九年十月三十一日
滿洲派遣第十六師團司令部
帝國在郷軍人會
大日本國防婦人會
奈良本部御中
感謝狀
當師團ニ對シ熱誠ナル後援ヲ賜リ今回態々御
吳海軍人事部長

海軍志願兵の榮

昭和十年度 海軍省

(一)海軍志願兵の使命
我々海軍はなぜ志願兵の採用に重きを置かねばならぬか、それは色々の理由もあるが、分り易く簡単に謂へば次の通りである。
一、日本獨創の優れた艦艇、航空機もその效力の發揮には志願兵の力に俟つことが多く、海軍の活動の舞臺は太平洋!! 其處に内容充實したる我が海軍の存在は平戰兩時に於ける帝國の繁榮と防護に缺くべからざるものである。されば思想堅實にして學力體力共に優秀なる全國の青少年が眼を帝國の前途に注ぎ奮つて身を海軍に投ずることは、將來益々その必要を感ぜられ大なる期待をかけられるのである。
(二)志願兵の採用員數
昭和十年に採用する海軍志願兵の員數は左の通りである。

キンカ
大財團法人大日本聯合婦人會
奈良冠總配給所伊藤太郎
郡山町柳三丁目

分會の活動



下田村分會

尋常高等小學校に於て陸軍少將伊豆凡夫閣下の軍事講演會を開催し聴衆八百餘名に及び盛會裡に終了せり。

東市村分會

十一月二十七日東市村役場内に於て入營入團兵の奉告祭並觀送式補充兵証書傳達式を實施す、當日は村全体として各團休參列の下に盛大に實施し入隊兵に在りては一同固き決心と異狀の緊張味を以て臨みて盛會裡に終了せり。

王寺町分會

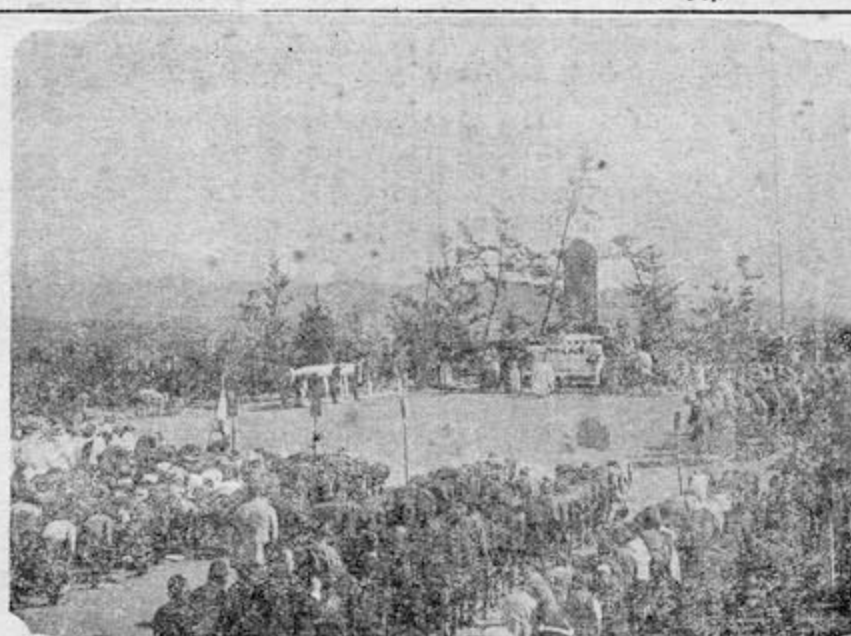
十一月十八日出動軍人家族植杉氏疾病のため分會内久度班員十八名は終日同家の稍刈取の農繁時後援に出動す。

櫻井町分會

十一月十五日秋季演習に際し東久邇宮殿下櫻井高等女學校に御成り遊被分會員一同奉迎せしめ、十一月十九日櫻井に出動せり。

三輪町分會

十月三十一日三輪町尋常高等小學校に於て大日本國防婦人會三輪町分會發會式に際し分會役員全員出場之が後援に努め當日は奈良縣隊區司令官の出席ありて時局に關する講演



祭魂招ルケ於ニ庭々校學小常尋二第町淀大部野吉

豊原村分會

十月二十五日午前九時より同村役場に於て分會員青訓生青年團參列裡に現役兵及補充兵証書傳達式を舉行す。

月瀬村分會

十月二十日當村出身在滿兵に對して慰問狀を送付す、十月三十一日桃香野尋常小學校に於て渡滿兵家族慰安會を開催し奈良支部映畫班の軍事映畫あり盛會裡に終了せり、十一月十日午後一時より尾山神社に於て渡滿兵武運長久祈願祭を舉行す。

東山村分會

十一月四五の兩日歩兵の一部秋季演習の途次東山村に於て一泊せるに際し分會員一同出動し諸般に亘りて後援せり。

畝傍町分會

十一月三日同町事務所に於て評議員會を開催し分會旗新調に關する件、忠魂碑玉垣設置に關する件等を決議す。

金橋村分會

十一月十一日同村出身在滿兵松田君遺家族に對して農繁時後援として各團休と共に終日稍刈に従事す。

福住村分會

十一月五日分會員は二班に分れ各々晝食携行にて渡滿軍人家族を訪問し終日稍刈に後援し夕刻散會す。

田原村分會

昭和七年陸軍特別大演習の勅令上陛下には徳大寺侍從を御差遣親しく民情を御覽あらるゝの光榮に浴したる村民は十一月十四日を卜して精神作興日として現下の非常時局に邁進すべし記念會を開催す、當日は舉行一休の行事として式後奈良縣隊區司令官の軍事講演あり後分列等を實施し盛會裡に終了す。

多武峯村分會

十月二十七日午前八時より金橋村小學校に於て未教育補充兵教育を實施す一同熱心に從事し効果大なるものありたり。

榛原町分會

十月十日宇陀高等小學校に於て大日本國防婦人會榛原町分會の發會式舉行に際し分會員出動之が後援に努め盛會に發會式の舉行當日山路大佐の參列あり式終了後時局講演あり盛會裡に終了せり。

經向村分會

九月十三日午後二時より經向尋常高等小學校に於て秋季總會を開催し續き出動軍人家族を招待し慰安會を開催歩兵

西口由太郎

會計士 電話一六七三番 奈良市餅飯殿町三二二 自宅 奈良縣生駒町

大淀町分會

十月二十一日大淀町第二小學校々庭忠魂碑前に於て招魂祭を執行す、各團休の參列ありて盛大に舉行せられ終了後出動軍人の武運長久祈願祭を行ひ引續き分會員の奉納武術試合あり盛會裡に終了す。

波多野村分會

十月二十七日同村役場に於て本年度壯丁に對し現役兵証書及補充兵証書傳達式を舉行せり、十月三十日奈良公園に於て施行の縣主催招魂祭に參列し同日出動軍人に對して慰安文を送付せり。

鴨公村分會

十月十七日午前九時鴨公村小學校に於て各團休參列と共に招魂祭舉行を終了後聯合分會長の滿洲慰問報告講演あり午後二時三十分終了午後五時より餘興等を催し盛會裡に終了す。

政始村分會

十月十五日政始村小學校に於て午前八時より秋季總會を開催後小學校運動會に參加せり十一月五日より七日に亘りて歩兵第六十一聯隊の一部村内宿泊に際し分會員は出場之が後援をなし役員等は各宿舎を訪問して慰問品を贈呈す。

北倭村分會

十一月一日北倭村役場に於て評議員會を開催し國防婦人會設立に關して決議す。

都介野村分會

十月一日午後一時より大字南ノ庄忠魂碑前に於て招魂祭を舉行す終了後秋委總會開催し盛會裡に終了せり。

法隆寺村分會

十一月二十二日午後七時より役場に於て各部隊入隊兵の送別會を開催し入營者に對して異狀の緊張味を如味せしめ盛會裡に終了す。

志都美村分會

十一月二日去る八月中高田警察署より犯人逮捕後援方依頼を受け分會員一同之が後援に努めたるにより役場内に於て感謝狀傳達式を舉行せり十一月二十日本年度入隊兵送別會を開催す。

河合村分會

十一月五日午後六時より穴間善巧寺に於て奈良支部増澤中佐の時局に關する講演會を開催し盛會裡に午後九時終了す。

福住村分會

十月二十日分會員一同は出動軍人家族を訪問慰安をなし後分會員は各組に編成して家事後援に終日盡力せり。

室生村分會

八月十一日より十月七日に亘り八日間補充兵軍事教育を實施し出席人員四十名にして終始熱心に從事せり、十月七日全員に對し終了証書交付式を舉行せり。

龍門村分會

十月二十六日より十月二十八日山口神社及龍門小學校に於て未教育補充兵教育を實施し一同熱心に從事し初期の目的を達成せり。

登錄 陸海軍御用達 清涼劑福美丹 外優良賣藥 十數方製劑卸 キ、メ、で 惚れられ 印ですかれ 同じ召すなら ふうくやの藥 高部市 高野市 高野市 高野市 (丁十へ東野寺岡) 房藥やくふ (兵宗井中 (番〇二話電))

陸軍御用達 各國時計 貴金屬 多賀時計店 奈良市下清水町 電話一〇九一番

實費 在郷軍人、青年訓練所生徒、各種 學校學生生徒、青少年團、入退營 者等の諸團體並兵事及教育社會事 業關係者の爲め食費のみにて清礎 にして明瞭なる宿泊所を提供す 奈良に宿泊せらるゝ場合は御利用 下さい、宿泊規定は御申越次第送 呈す 奈良市驛前新國道筋 富士屋社會館 主 任 豫 備 役 宮本忠澄 陸軍歩兵中佐 電話(一)一八三番 奈良(一)六三九番

寫眞は 道馬軒へ 奈良縣囑託 中村朝太郎